

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月09日

計画の名称	富田林市における安全・安心下水道改築計画（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	富田林市												
計画の目標	老朽化した下水道管の管路不良による道路陥没等を未然に防止し予防保全的な管理を行うとともに、ライフサイクルコストの最小化を図って長寿命化を含めた計画的な改築を行っていきます。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	856	A	854	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.23	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道長寿命化計画改築延長施工率を33.2%（H27当初）から100.0%（H29末）に増加させる。 第1期下水道長寿命化計画改築延長（改築施工延長(m)／改築対象延長(m)）を算定する。 改築対象延長L=9,631.7m H25・H26施工延長 237.19m+2,957.25m=3,194.44m H27当初 3194.44m÷9,631.7m=0.332(33.2%)	33%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠（ 污水）	改築	狭山処理区 長寿命化計 画改築工事実施	管更生 L=9.6km	富田林市	■	■	■			743	-	策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-002	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠（ 污水）	改築	狭山処理区 ストックマ ネジメント計画策定	計画策定一式	富田林市			■			11	-	—
	A07-003	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠（ 雨水）	—	流出解析浸水シミュレ ーション 浸水想定区域策 定	全体計画面積 2,850.5ha	富田林市		■	■	■	■	80	-	—
	A07-004	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠（ 污水）	改築	下水道総合地震対策事業	下水道総合地震対策計画策定 耐震診断	富田林市					■	20	-	未策定
		下水道総合地震対策計画																	
											小計						854		
											合計						854		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠（ 雨水）	新設	内水ハザードマップ作成	マップ50,000部作成 全戸配布	富田林市			■				2	-	-
基幹事業(A07-003)である浸水想定区域の策定と内水ハザードマップの作成を一体的に行うことにより、事業が効果的に行える。また、早期に市民の防災意識の向上効果を図ることができる。																				
											小計							2		
											合計							2		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富田林市上下水道事業運営協議会（市外部の識見を有する13名で構成）において、当計画の事業実施状況・指標の達成状況を報告・確認を実施。	令和2年10月30日
	公表の方法 富田林市ホームページにて公表する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道長寿命化計画改築工事施工率を平成27年度当初の33.2%から平成29年度末に100.0%にする目標に対して、対象延長全ての改築工事が施工完了となり達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	ストックマネジメント計画策定、浸水想定区域策定、下水道総合地震対策計画策定を行いました。

○特記事項（今後の方針等）

平成30年度より第2期ストックマネジメント計画として金剛東処理分区及び加太五軒家処理分区の長寿命化及び不明水対策をPFI手法にて工事を行っております。その他の地区についても、ストックマネジメント計画に基づいた改築工事を進めます。また、総合地震対策計画に基づく、管路耐震診断及び管路改築実施設計を行い、総合地震対策も合わせて整備を行います。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月09日

計画の名称	富田林市における汚水処理対策の推進（その2）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	富田林市												
計画の目標	下水道の汚水整備を行い、快適な暮らしを実現し、都市化による石川の水質汚濁を改善する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,828	A	2,715	B	0	C	113	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	3.99	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を87.3%（H27当初）から92.3%（H31末）に増加させる。 下水道処理人口普及率（下水道整備区域人口／行政人口）を算定する。 (H27当初) 100,554÷115,254=87.3% (H29末) 101,717÷112,058=90.8% (H31末) 101,260÷109,660=92.3%	87%	91%	92%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富田林市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	大井処理区 汚水管の整 備	Φ200～250mm L=17.7km	富田林市	■	■	■	■	■	2,379	-	-	
	A07-002	下水道	一般	富田林市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	狭山処理区 汚水管の整 備	Φ200mm L=2.5km	富田林市	■	■	■	■	■	336	-	-	
											小計						2,715			
											合計							2,715		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

富田林市上下水道事業運営協議会（市外部の識見を有する13名で構成）において、当計画の事業実施状況・指標の達成状況の報告・確認を実施。

事後評価の実施時期

令和2年10月30日

公表の方法

富田林市ホームページにて公表する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

人口普及率が平成26年度末の87.3%から令和元年度末には5.4ポイント増加の92.7%になりましたので、目標値の92.3%を上回り達成した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

富田林市内を流れる石川・千早川・佐備川において、水質指標であるBOD負荷量の計測値が全ての箇所において基準値を達成した。

○特記事項（今後の方針等）

今後も更なる整備コストの軽減を図るため、前例にとられない、経済的な工法の採用や、集落から離れた家屋の処理手法を見直すなど、令和6年度での下水道整備の概成を目指します。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率を87.3%（平成27当初）から92.3%（R元末）に増加させる。	
	最終目標値	92%
	最終実績値	93%